



## 2/25 「地域学校協働活動」推進を称えて ～竜北東小学校学校運営協議会が文部科学大臣表彰を受賞～

地域と学校が協力して未来を担う子どもの成長を支える活動が他の模範になると認められ、竜北東小学校学校運営協議会(会長 中園庸子さん)が文部科学大臣表彰を受賞されました。表彰を受けて中園会長は、「これまでの取り組みの成果が報われたことをうれしく思います。これからも止まることなく取り組んでいきます。」と話されました。竜北東小学校学校運営協議会は平成21年度に活動を開始し、これまでに地域課題解決学習や起業体験活動など、様々な活動に取り組んでいます。



▲受賞された竜北東小学校学校運営協議会関係の皆さん

### 地域学校協働活動

「学校を核とした地域づくり」を目指し、地域と学校がパートナーとして連携・協働して行う活動です。町内の各小中学校に設置されています。

## 3/10 子どもの良さを引き出す指導を称えて ～坂本稔先生(竜北西部小)が文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞～

竜北西部小学校の坂本稔先生が、令和2年度文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞されました。今回の受賞は、坂本先生の「学習指導」分野の実績が高く評価されたもので、令和元年度の熊本県教育功労(優秀教職員)表彰に続くものです。坂本先生は、現在の竜北西部小学校の前は宮原小学校に7年、その前は竜北東小学校に7年在籍されており、町内の全小学校を経験された氷川町と縁の深い先生です。ICT活用や家庭学習指導の分野においても素晴らしい実践を重ねられ、「子どもの良さを引き出す指導」を進めておられます。また、先生たちの研修の講師も務められ、後輩教師の資質向上にも貢献されています。



▲受賞された坂本稔先生

## 3/5 火乃国食品工業(株)と火乃国商事(株)が 企業版ふるさと納税を活用して寄附

火乃国食品工業(株)と火乃国商事(株)(いずれも宇城市小川町)が、「氷川町の地方創生の取り組みに役立てていただきたい。」と企業版ふるさと納税制度を活用して本町へそれぞれ30万円を寄附されました。本町の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく地方創生の事業に活用させていただきます。

### 企業版ふるさと納税

企業が寄附を通じて自治体が行う地方創生の取り組みを応援した場合に、税制上の優遇措置が受けられる制度です。

## 行政運営

下水道事業については、経営安定に向けた普及率の向上と、宮原処理区の八代北部流域下水道への編入工事を県とともに推進してまいります。道路・河川および排水路につきましては、地区要望を含め、優先順位を付けて整備を行ってまいります。



確実に実践するとともに、堅実な行政運営を行うためにも、進捗状況の確認と成果の検証を行い、堅実な行政運営を進めてまいります。

行政運営の観点では、住民協働によるまちづくりと行財政改革を推進します。議会議事録作成支援システムならびに行政事務のペーパーレス会議システムの導入と行政手続きでの押印廃止を実施します。第二次氷川町総合振興計画、第二期地方創生総合戦略ならびに氷川町国土強靱化地域計画で示したまちづくりの基本方針および各種施策を遂行するため、財源確保と堅実な行政運営を図ってまいります。氷川町第二次行政改革大綱および実施計画に基づいた改革を

さらに効率のよい機能的な行政組織とするため、公共施設の管理運営計画に基づき、適正な施設管理と効率的な運用に努めてまいります。行政運営の原動力である職員の能力開発と育成に尽力するとともに、人事評価を厳正に行い、処遇へ反映させてまいります。

令和3年度は「多様性のある臨機応変な町政運営と改革の実践」と位置づけ、財政健全化を見据えた徹底した行財政改革に取り組みとともに、新型コロナウイルス感染症への対応を含めた住民生活を最優先に考える多様な柔軟な視点を持ち、氷川町総合振興計画ならびに地方創生総合戦略に基づいたまちづくり戦略を掲げ、議会の協力

住民主役のまちづくりを進めていく上では、町民の皆様との対話と協働が重要であり、町政懇談会を工夫して実施するとともに、情報を共有する必要があるため、出来る限りの情報提供に努めてまいります。SDGsの一環として取り組んでいるペルー共和国への衣類支援を継続するとともに、大空町との相互交流により友好の絆を深めてまいります。氷川町が誕生して16年目を迎えて、持続可能な基礎自治体としての礎を築くべく、発想の転換と大胆な改革の時期を迎えています。

を頂き、町民の皆様と協働しながら、「安心して暮らせ、幸せを実感できる持続可能な田園都市・氷川町の創造」に向け、全身全霊を傾注し職員とともに堅実かつ臨機応変な町政の運営を行ってまいりますので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

